



成果指標				
成果指標	地域活動支援センターへ新規で通所し始めた人数			
指標設定の考え方	障害者等が通所することにより、社会参加や自立へとつながる事から、一人でも多く利用を促進していく必要がある事から指標と考えた。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標28年度
目標	15	15	15	15
実績	17	17	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	なかなか他の事業所への移行が進まず、定員一杯の状況が続いている。本人の意向を尊重しながらではあるが、可能な限り他の事業所への移行を進めたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	中山にある障害者通所施設で、山間部の自宅まで送迎を実施することから、身体・知的・精神障害者や高齢障害者が通所している。また、計画相談を実施することで、新規の障害者も開拓され、毎日、定員一杯の利用がある。しかしながら、限られた運営費のなかで、職員の増員が難しく、運営方法(利用者の年齢制限)の見直し等の検討を事業実施主体の法人に申し入れをしている。今後も日中居場所がない障害者が気軽に利用できるように、地域活動支援センターの機能を最大限に引き出したいと考える。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題